



校長室だより

すきです 白峰

自らをみつめる

平成 29 年 1 月 27 日 No.39

白山市立白峰小学校

充実の3学期に

スローガン

「すきです 白峰, 学び合い, 高め合い, 世界に発信」

学力の安定・向上に向けて



チャレンジタイム



25分 プラス の共通実践

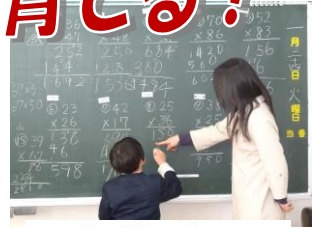
毎週水曜日 午後1時20分～45分

プラス「放課後学習」(校長室で〇まる)

全教員, 全学年で工夫した取り組みを行っています。いつでもご来校いただきご覧ください。

白山開山1300年 名山にふさわしい子どもを育てる!

2 学期末の後期学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。現在分析中の結果と対応策の一部を速報でご報告いたします。今後、2月17日開催予定のスクールフォーラムで本校の今後のよりよい改善に向けた忌憚のないご意見, ご感想を伺えれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。



後期学校評価

速報

A 評価判定項目 平成28年度白山市立白峰小学校 後期学校評価の結果分析と方策

	実現状況の達成基準	12月の達成度・判定	分析(7月との比較)	〇続ける方策 ◎新たな方策
7 楽しい学校	学校に行くのが楽しいと感じている児童・保護者, 工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 69.7% A+B 87.9% 保護者アンケートA 48.5% A+B 90.9% 教員自己評価 A 45.5% A+B 100%	A 〇2学期も学校教育活動を通して, 自己肯定感, 自己有用感が高められている。一連の夢プロジェクトの活動を通して, 全校が意欲を持って, 協力協働する姿が見られた。	〇引き続き全ての学校教育活動において「ほめて, 認めて, 励ます」ことを徹底する。6年生を送る会や委員会活動等, 高学年がお手本となる活動を通して, 主体性や自主的運営力を高めていく。
2 分かりやすい授業	分かりやすい授業だと思っていると答えた児童・保護者, 工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 51.5% A+B 90.9% 保護者アンケートA 33.3% A+B 81.8% 教員自己評価 A 57.1% A+B 100%	A 〇外部講師を招聘しての研究授業が進み, 授業改善が進んでいる。 〇ユニバーサルデザインの授業が意識されている。	〇少人数を活かすタイムマネジメントを具体化する。 〇ユニバーサルデザインの授業改善を徹底する。 〇「書く」説明する」場を明確にした授業を徹底する。 ◎授業チェックシートを活用する。
14 体を動かし体力向上	体育の時間等に体をよく動かし体力がついてきていると答えた児童, 指導を工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 72.7% A+B 93.9% 教員自己評価 A 37.5% A+B 100%	A 〇児童, 教員共に体力アップへの意識は高く, 体力アップ計画に基づいて, 具体的な実践がなされている。11月の体力測定では3年生以上で持久力の伸びが見られた。 〇休み時間に学年が混じって仲よく運動する様子が見られるようになった。	〇全校一斉に冬期の体力の維持向上を目指し, 個々のめあてに沿って, なわとび・スポチャレ週間に取り組む。 ◎げんき委員会の活動として, 冬の遊びを提案し, みんなで楽しみながら体を動かす意欲を高める。
15 地域の教育力の活用 (金管演奏, 俳句作り, かんこ踊り)	ふるさと教材への取り組みに熱心に取り組んでいると答えた児童・保護者, 指導を工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 51.5% A+B 90.9% 保護者アンケートA 42.4% A+B 90.9% 教員自己評価 A 75.0% A+B 100%	A 〇人材一覧表を活用し, 全学年で地域の先生を招いた授業を行ってきたことが高い評価に表れている。 〇文化祭・ライン賞・感謝の会等の取組に達成感が生まれている。	〇様々な課題に対して児童の主体的な取り組みを進める。 〇学習発表会・収穫祭で児童の企画・運営を重点に据える。 ◎スキー授業・スノーシュー体験でも地域の教育力を活用する。
16 ねばり強く取り組む 地域スポーツ (登山, 相撲, 水泳, スキー)	目標を持ってねばり強く取り組んでいると答えた児童, 指導を工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	児童アンケート A 54.5% A+B 93.9% 教員自己評価 A 50.0% A+B 100%	A 〇運動面で粘り強く取り組んだという実感が表れている。	〇それぞれの取組で, 自らのめあてを大切に意識させ, 「ほめて, 励まし, 認める」ことのできるほどの良さを実感させる。 ◎6年生を送る会や卒業証書授与式の意義を自覚させ, 学習面でもねばり強く取り組めるよう, よりよい姿や努力する姿を認める。
11 朝食	毎日朝食をとっていると答えた保護者が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	保護者アンケートA 84.8% A+B 93.9%	A 〇A評価は高い傾向にあるが, A+Bの評価は変わらない。	〇「早寝・早起き・朝ご飯」の必要性について, 保健だより等で継続した発信を行う。 〇委員会活動で, 自主的に朝ご飯の大切さを調べさせ, 全校に発信する。 ◎毎月のせいけつ検査を利用して, 個別の指導を徹底する
13 学校の情報発信	学校が学校活動を便りやいろいろな場で伝える努力をしていると答えた保護者が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	保護者アンケートA 42.4% A+B 90.9%	A 〇学校だより, 校長室だより, 学年たより等で学校の見え方が理解されている傾向にある。	〇校長室だより, 学校だよりを継続して全戸配布する。 〇道德だより, 研究だより, 生徒指導だより, イングリッシュデーたよりなど, 時を捉えてタイムリーな情報発信を心がける。 〇報道機関を通して, 広く情報公開に努める。

分かりやすい授業が改善

地域の教育力の活用が改善

ねばり強く取り組む地域スポーツが改善



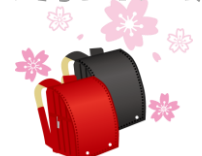
「見える学校」, 「信頼される学校」の推進

D 評価判定項目		12月の達成度・判定	分析(7月との比較)	○続ける方策 @新たな方策
3	基礎基本の繰り返し練習(漢字・計算)	学期末テスト90点以上の児童・指導している教職員・確認している保護者が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満 児童アンケート A 18.2% A+B 54.6% 保護者アンケートA 18.2% A+B 66.7% 教員自己評価 A 33.3% A+B 100%	▼朝学習や放課後学習で、基礎基本の繰り返し学習の徹底が求められる。	○放課後学習で基礎基本の定着と意欲付けを継続する。 ○繰り返し練習による漢字100点合格を徹底し、努力をほめて認め、自信と意欲的な継続を目指す。 ○「書き方チャレンジ」の取組を継続し、丁寧に書く指導を徹底する。 ◎火曜日の朝学習で100問プリント指導を徹底する。
6	書く力(作文、日記)	感じたことや思ったことを書くことができる児童・保護者、工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満 児童アンケート A 39.4% A+B 63.6% 保護者アンケートA 12.1% A+B 30.3% 教員自己評価 A 37.5% A+B 100%	○自問ノートや振り返りで書く活動は定着しつつあり、児童の実感が高まっている傾向がみられる。 保護者には、児童の書く意欲や実態を常に、広く知らせていく必要がある。	○条件をつけた作文の指導に取り組み(水曜朝学習・チャレンジタイム・毎日の連絡帳・自問ノート・パワーアップ学習)、自信と意欲を向上させる。 ○キーワード、字数制限(50-100字)でまとめることを継続し、慣れさせる。 ◎読売ワークシートや書くことプリントを活用すると共に、マス目のはいた用紙で、ていねいに書く力を高める。
C 評価判定項目				
4	学習の構え①(聞く)	人の話を聞いてわかると答えた児童・保護者、教職員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満 児童アンケート A 45.5% A+B 87.9% 保護者アンケートA 12.1% A+B 66.7% 教員自己評価 A 25.0% A+B 87.5%	▼児童、教職員は聞く姿勢が整ってきたと考える傾向にあるが、保護者は聞く姿勢や理解度に課題を感じている傾向にある。	○授業で指示は短く、繰り返さない姿勢を徹底する。 ○聞く姿勢(話し手を見る)が整ってから、話し始める場を徹底する。 ○意図的に、他の意見を復唱させる。 ◎聞いたことを、メモして要約する場を計画的に設定する。 ◎毎週金曜日の朝学習で、聞くことトレーニングを行う。
5	学習の構え②(話す)	人に分かるように話すことができる児童・保護者、工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満 児童アンケート A 36.4% A+B 75.8% 保護者アンケートA 12.1% A+B 75.8% 教員自己評価 A 37.5% A+B 100%	▼改善傾向にあるが、分かりやすく話す話型の取り組み効果が表れていない。	○話型の指導を徹底する。 ○全校や他学年の前で話す機会を増やし、相手を意識した話し方の指導を徹底する。 ○学習発表会では、原稿を見ないで発表できるよう練習を繰り返す。 ◎組み立てを考えて、自ら発表原稿を作り、覚えて話す。
9	生活規律(あいさつ、返事)	あいさつや返事ができると答えた児童・保護者、教職員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満 児童アンケート A 63.6% A+B 87.8% 保護者アンケートA 48.5% A+B 72.7% 教員自己評価 A 10.0% A+B 80.0%	○保護者評価の向上から、手本となる取組が進展している傾向にある。授業での返事は教員の継続した取り組みを徹底強化する。	○いつでもどこでもだれにでも毎日30人への元気あいさつを継続する。 ○毎月のふりかえりを継続する。 ○保護者にあいさつ運動への参加を促す。 ○イングリッシュデーの取り組みを進め、楽しい英会話を通じてあいさつやジェスチャーの意義を実感させる。 ◎朝、昼食時、帰りのあいさつについて、重点的、具体的に指導する。
11	自己肯定感	自分や友だち、学級の「いいところ」や、がんばっているところが言える児童・保護者、工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満 児童アンケート A 36.4% A+B 63.7% 保護者アンケートA 30.3% A+B 72.7% 教員自己評価 A 30.0% A+B 100%	○自問清掃の充実で自己評価は厳しくなっている傾向にあるが、保護者は自己を見つめる児童を評価している傾向がみられる。	○様々な活動に他との相互評価を取り入れ、児童相互で自己肯定感、自己有用感を高める。 ○先行実施している教科道徳で、自己を見つめる時間を活用する。 ◎授業や一日のふりかえりで、児童相互の評価の場を設定し、互いにほめて認め、励ます時間とする。
12	自主的実践力	「学級や学校がよくなるためのこと」を考えたり発言できると答えた児童・保護者、工夫している教員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満 児童アンケート A 30.3% A+B 60.6% 教員自己評価 A 66.7% A+B 100%	▼児童の評価が前期と変わらない。児童アンケートで低学年に理解しにくい面がある。	○自問清掃の班を3週間交替で活性化させ、他者理解の場を増やすことで協働意識を高め、自主的実践を推進する。○縦割り活動、雪だるま集会や6年生を送る会で、児童に企画・実践させる場を具現化し、全体で見える化することで意欲の高揚を図る。 ◎学校や学級のよさを考えさせる時間を設定する。



待ってます 新1年生

1月24日(火)



小・保交流が行われ、白峰保育園の4名の男の子たちが来校しました。一年生が頑張った「おもてなし」はいいかがでしたか？一年間で成長した素敵なお兄さんやお姉さんが見られましたか！新しいみんな、四月が待ち遠しいです。待っていますよ！



本校の今年度後期の最重点課題が明らかになりました。

最重点課題は前期同様「基礎基本の徹底」と「書く力」の向上の2点です。

重点克服への改善が見える化で行い、全校の具体的な成長を目指します。

その他、ここで向上した項目と低下した項目を示します。

「BからA」に向上した項目

「2. 分かりやすい授業」

「15. 地域の教育力の活用」

「16. ねばり強く取り組む地域スポーツ」

「BからC」に低下した項目

「5. 学習の構え②(話す)」

後日、一覧表を配布いたします。

全体をご覧いただき、忌憚のないご意見を賜れば幸いです。



みつけ玉を磨く!

がまん玉を磨く!

しんせつ玉を磨く!



ホームページではカラーでご覧になれます。いつでも何なりとお問い合わせください。
〒920-2501 石川県白山市白峰ニ110番地
TEL (076) 259-2009 FAX (076) 259-2188
E-mail shiramine-e02@sc.city.hakusan.ishikawa.jp